



2024年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2023年7月31日

上場会社名 株式会社京都銀行 上場取引所 東
 コード番号 8369 URL <https://www.kyotobank.co.jp/>
 代表者(役職名) 取締役頭取 (氏名) 安井 幹也
 問合せ先責任者(役職名) 取締役経営企画部長 (氏名) 本政 悦治 (TEL) 075-361-2275
 四半期報告書提出予定日 2023年8月4日 配当支払開始予定日 —
 特定取引勘定設置の有無 無
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満、小数点第1位未満切捨て)

1. 2024年3月期第1四半期の連結業績(2023年4月1日~2023年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	経常収益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期第1四半期	41,475	△0.1	20,269	6.2	14,896	7.2
2023年3月期第1四半期	41,521	9.4	19,084	△0.8	13,892	△0.0

(注) 包括利益 2024年3月期第1四半期 124,349百万円(—%) 2023年3月期第1四半期 △47,356百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年3月期第1四半期	200.37	200.20
2023年3月期第1四半期	184.80	184.61

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2024年3月期第1四半期	11,251,841	1,110,778	9.8
2023年3月期	11,037,611	992,377	8.9

(参考) 自己資本 2024年3月期第1四半期 1,107,724百万円 2023年3月期 989,365百万円

(注) 「自己資本比率」は、(期末純資産の部合計-期末新株予約権-期末非支配株主持分)を期末資産の部合計で除して算出しております。なお、本「自己資本比率」は、自己資本比率告示に定める自己資本比率ではありません。

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年3月期	—	60.00	—	80.00	140.00
2024年3月期	—	—	—	—	—
2024年3月期(予想)	—	80.00	—	80.00	160.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

(注) 当行は、関係当局の認可等を得られることを前提に、2023年10月2日付で、株式移転により持株会社を設立する予定です。配当予想については、現在の当行組織を前提に算定しており、持株会社の配当予想は、改めて発表する予定です。

3. 2024年3月期の連結業績予想(2023年4月1日~2024年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	経常収益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	64,100	△2.5	22,300	0.3	16,000	0.2	215.21
通期	123,100	△0.9	39,400	3.2	28,000	2.8	376.62

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

(注) 当行は、関係当局の認可等を得られることを前提に、2023年10月2日付で、株式移転により持株会社を設立する予定です。業績予想については、現在の当行組織を前提に算定しており、持株会社の業績予想は、改めて発表する予定です。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注) 詳細は、添付資料P.4「1. 四半期連結財務諸表及び主な注記 (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2024年3月期1Q	75,840,688株	2023年3月期	75,840,688株
② 期末自己株式数	2024年3月期1Q	1,495,474株	2023年3月期	1,495,313株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2024年3月期1Q	74,345,271株	2023年3月期1Q	75,176,300株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

・四半期決算説明資料は四半期決算短信に添付しております。

○添付資料の目次

1. 四半期連結財務諸表及び主な注記	2
(1) 四半期連結貸借対照表	2
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	3
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	4
(継続企業の前提に関する注記)	4
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	4
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	4
(追加情報)	4
2023年度第1四半期決算説明資料	5

1. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2023年6月30日)
資産の部		
現金預け金	1,201,115	1,006,173
コールローン及び買入手形	416,033	523,104
買入金銭債権	15,342	14,548
商品有価証券	222	175
金銭の信託	13,305	6,014
有価証券	2,940,949	3,210,636
貸出金	6,298,081	6,311,046
外国為替	7,758	6,954
リース債権及びリース投資資産	12,641	12,680
その他資産	72,893	98,070
有形固定資産	75,753	75,414
無形固定資産	2,701	2,579
繰延税金資産	1,006	1,006
支払承諾見返	17,174	19,833
貸倒引当金	△37,368	△36,395
資産の部合計	11,037,611	11,251,841
負債の部		
預金	8,367,943	8,467,494
譲渡性預金	706,227	722,817
コールマネー及び売渡手形	—	3,152
債券貸借取引受入担保金	392,501	413,362
借入金	254,090	156,180
外国為替	233	185
信託勘定借	4,174	4,151
その他負債	76,925	78,937
退職給付に係る負債	27,683	27,348
睡眠預金払戻損失引当金	219	219
偶発損失引当金	578	575
特別法上の引当金	0	0
繰延税金負債	197,273	246,607
再評価に係る繰延税金負債	208	199
支払承諾	17,174	19,833
負債の部合計	10,045,233	10,141,063
純資産の部		
資本金	42,103	42,103
資本剰余金	34,158	34,158
利益剰余金	421,490	430,461
自己株式	△8,521	△8,522
株主資本合計	489,231	498,201
その他有価証券評価差額金	501,966	611,242
繰延ヘッジ損益	227	209
土地再評価差額金	473	451
退職給付に係る調整累計額	△2,533	△2,381
その他の包括利益累計額合計	500,134	609,522
新株予約権	264	264
非支配株主持分	2,747	2,790
純資産の部合計	992,377	1,110,778
負債及び純資産の部合計	11,037,611	11,251,841

（2）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

（単位：百万円）

	前第1四半期連結累計期間 （自2022年4月1日 至2022年6月30日）	当第1四半期連結累計期間 （自2023年4月1日 至2023年6月30日）
経常収益	41,521	41,475
資金運用収益	29,530	30,313
（うち貸出金利息）	11,252	12,744
（うち有価証券利息配当金）	17,410	15,915
信託報酬	0	0
役務取引等収益	5,232	5,900
その他業務収益	5,589	2,053
その他経常収益	1,168	3,206
経常費用	22,437	21,206
資金調達費用	718	3,527
（うち預金利息）	512	2,876
役務取引等費用	1,138	1,139
その他業務費用	5,230	1,267
営業経費	14,683	14,524
その他経常費用	665	747
経常利益	19,084	20,269
特別利益	—	0
固定資産処分益	—	0
特別損失	104	166
固定資産処分損	28	92
減損損失	76	73
金融商品取引責任準備金繰入額	0	0
税金等調整前四半期純利益	18,979	20,102
法人税、住民税及び事業税	4,292	4,122
法人税等調整額	772	1,058
法人税等合計	5,065	5,180
四半期純利益	13,914	14,921
非支配株主に帰属する四半期純利益	21	25
親会社株主に帰属する四半期純利益	13,892	14,896

四半期連結包括利益計算書
第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)
四半期純利益	13,914	14,921
その他の包括利益	△61,270	109,427
その他有価証券評価差額金	△61,786	109,293
繰延ヘッジ損益	403	△17
退職給付に係る調整額	112	151
四半期包括利益	△47,356	124,349
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△47,394	124,307
非支配株主に係る四半期包括利益	37	42

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

連結子会社の税金費用は、当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じることにより算定しております。

(追加情報)

(単独株式移転による持株会社体制への移行について)

当行は、2023年5月12日開催の取締役会において、定時株主総会における承認および必要な関係当局の認可等が得られることを前提に、2023年10月2日(予定)を効力発生日として、当行単独による株式移転により持株会社(完全親会社)である「株式会社京都フィナンシャルグループ」を設立し、持株会社体制へ移行することを決議いたしました。

詳細につきましては、2023年5月12日に公表いたしました「単独株式移転による持株会社体制への移行に関するお知らせ」をご参照ください。

なお、2023年6月29日に開催された当行の定時株主総会において、株式移転計画について承認されております。

2023年度第1四半期決算説明資料

1. 2023年度第1四半期の業績 (2023年4月1日～2023年6月30日)

(1) 連結・単体損益の概要

連結損益については、経常利益が前年同期比11億円増加の202億円、親会社株主に帰属する四半期純利益は前年同期比10億円増加の148億円と、いずれも第1四半期としては過去最高となりました。

【連結損益】

(百万円)

	2023年度 第1四半期		2022年度 第1四半期
		前年同期比	
連結粗利益	32,334	△ 929	33,264
連結経常利益	20,269	1,184	19,084
親会社株主に帰属する四半期純利益	14,896	1,003	13,892

【単体損益】

(百万円)

	2023年度 第1四半期		2022年度 第1四半期
		前年同期比	
業務粗利益	31,115	△ 785	31,901
経常利益	19,701	1,374	18,326
四半期純利益	14,579	1,165	13,413

【連単差（子会社寄与分）】

(百万円)

	2023年度 第1四半期		2022年度 第1四半期
		前年同期比	
業務粗利益	1,218	△ 144	1,362
経常利益	568	△ 189	757
四半期純利益	317	△ 161	479

（2）単体損益の状況

業務粗利益は、役務取引等利益及びその他業務利益が増加したものの、有価証券利息配当金を中心に資金利益が減少したことにより、前年同期比7億円減少の311億円となりました。

一方、経常利益は、与信関連費用が前年の繰入から戻入に転じたことや、株式等関係損益の増加により、前年同期比13億円増加の197億円となりました。

これらの結果、四半期純利益については、前年同期比11億円増加の145億円となりました。

(百万円)

	2023年度 第1四半期	前年同期比		2022年度 第1四半期
業務粗利益 A	31,115	△ 785		31,901
資金利益	26,742	△ 2,046		28,789
役務取引等利益	3,840	591		3,248
その他業務利益	532	669		△ 136
うち国債等債券損益	224	1,929		△ 1,705
経費 B	13,911	△ 189		14,100
OHR (B/A)	44.70 %	0.51 %		44.19 %
実質業務純益	17,204	△ 596		17,801
コア業務純益	16,980	△ 2,526		19,507
除く投資信託解約損益	16,980	△ 1,619		18,599
一般貸倒引当金繰入額 ①	—	856		△ 856
業務純益	17,204	△ 1,452		18,657
臨時損益	2,496	2,827		△ 330
不良債権処理額 ②	56	△ 1,058		1,114
貸倒引当金戻入益 ③	915	915		—
一般貸倒引当金戻入益	858	858		—
個別貸倒引当金戻入益	57	57		—
株式等関係損益	2,111	1,460		651
その他臨時損益	△ 474	△ 607		132
経常利益	19,701	1,374		18,326
特別損益	△ 166	△ 61		△ 104
税引前四半期純利益	19,534	1,312		18,222
法人税等合計	4,955	147		4,808
四半期純利益	14,579	1,165		13,413
与信関連費用 (①+②-③)	△ 858	△ 1,117		258

(注) 実質業務純益とは、業務粗利益から経費を差し引いたものであります。

コア業務純益とは、実質業務純益から国債等債券損益を除いたものであります。

2. 主要勘定の状況 【単体】

(1) 預金・譲渡性預金

預金・譲渡性預金は、法人預金・個人預金を中心に、2022年6月末比3,660億円増加し、9兆2,220億円となりました。

	2023年6月末	2022年6月末比		2022年6月末	2023年3月末
		増減額	増減率		
		預金	84,767		
譲渡性預金	7,453	1,861	33.3%	5,591	7,287
預金・譲渡性預金	92,220	3,660	4.1%	88,559	91,046
個人	57,534	1,690	3.0%	55,843	56,691
法人	28,616	2,126	8.0%	26,490	27,990
金融・公金	6,069	△155	△2.5%	6,225	6,365

(億円)

(2) 貸出金

貸出金は、法人向け貸出を中心に、2022年6月末比1,939億円増加の6兆3,191億円となりました。

なお、中小企業等貸出金は、2022年6月末比945億円増加の4兆1,438億円となりました。

	2023年6月末	2022年6月末比		2022年6月末	2023年3月末
		増減額	増減率		
		貸出金	63,191		
うち中小企業等貸出金	41,438	945	2.3%	40,492	41,848
うち中小企業向け貸出金	24,838	830	3.4%	24,008	25,258
住宅ローン	17,273	65	0.3%	17,208	17,284

(億円)

（3）有価証券

有価証券残高は、市場動向を注視しつつ、適切な運用に努め、評価差額を除いたベースの期末残高は2兆3,359億円となりました。

	2023年6月末	2022年6月末比		2022年6月末	2023年3月末
		増減額	増減率		
		有価証券	32,139		
債 券	21,330	1,569	7.9%	19,760	20,118
株 式	10,808	893	9.0%	9,914	9,324
（うち評価差額）	8,779	858	10.8%	7,920	7,204
評価差額除く有価証券	23,359	1,604	7.3%	21,755	22,237

（4）グループ預かり資産

グループ預かり資産残高は、2022年6月末比572億円増加の7,693億円となりました。期中販売額は、保険が大きく増加しました。

＜残高＞

		2023年6月末	2022年6月末比	2022年6月末	2023年3月末
京 都 銀 行	投資信託	2,529	323	2,205	2,349
	保 険	3,069	316	2,753	2,904
	外貨預金	128	△ 36	164	123
	公 共 債	493	△ 108	601	508
	京 銀 証 券	1,472	77	1,395	1,521
グループ合計		7,693	572	7,121	7,407

（注）外貨預金は、個人外貨預金残高を記載。

＜期中販売額＞

		2023年度 第1四半期	前年同期比	2022年度 第1四半期
京 都 銀 行	投資信託	170	17	153
	保 険	133	69	64
	外貨預金	24	△ 30	55
	公 共 債	16	△ 0	17
	京 銀 証 券	121	△ 46	167

（注）保険は、一時払の個人年金保険および終身保険の販売額合計を記載。

3. 健全性の状況

(1) 有価証券の評価差額（含み益） 【単体】

有価証券の評価差額(含み益)は、8,779億円と引き続き高水準を維持しております。

(億円)

	2023年6月末			2022年6月末			2023年3月末		
	評価差額			評価差額			評価差額		
		評価益	評価損		評価益	評価損		評価益	評価損
その他有価証券	8,779	9,162	383	7,920	8,269	348	7,204	7,658	453
株式	9,114	9,120	5	8,205	8,217	12	7,622	7,629	7
債券	△ 236	23	259	△ 188	28	216	△ 279	16	296
その他	△ 98	19	118	△ 96	23	120	△ 137	11	149

(2) 不良債権の状況 【単体】

金融再生法開示債権比率は1.54%、また、部分直接償却を実施した場合には1.47%と、引き続き低水準で推移しております。

金融再生法開示債権の推移

(億円)

	2023年6月末		2022年6月末	2023年3月末
		2022年6月末比		
破産更生債権及びこれらに準ずる債権	90	16	73	86
危険債権	835	13	821	848
要管理債権	62	△ 1	63	62
開示債権合計	988	28	959	997
開示債権比率	1.54%	0.00%	1.54%	1.56%
<部分直接償却後> 開示債権合計	941	11	929	956
開示債権比率	1.47%	△ 0.02%	1.49%	1.49%

自己資本比率(国内基準)の2023年6月末実績につきましては、算出次第公表いたします。